

## 庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

開催日時：平成29年2月16日（木）午後1：30～3：00

場 所：庄内町役場 西庁舎 第二会議室

出席委員：菅原源也、齋藤学、市村正浩、遠藤 秀男、佐藤昭一、佐藤トク、庄司武晴、齋藤君夫、鎌田剛、水尾良孝、中鉢智幸、鈴木恵子、工藤むつ子、渡會弘喜

出席職員：池田保健福祉課長、高山課長補佐、小林課長補佐、鈴木主査兼地域支援係長、長南主査兼介護保険係長、加藤主査兼福祉係長、荒木主任

内容は次の通り

### 1 開会

- 2 委員長あいさつ 水尾委員長 本日3回目の委員会となります。地域福祉計画については本日の審議をもって答申ということになるので、ぜひ積極的なご意見をお願いしたい。

### 3 協議

#### (1) 庄内町地域福祉計画の策定について

水尾委員長：本日地域福祉計画について2回目の会議となるが、前回指摘された計画体系の見直しや、追記事項などが反映された資料は事前に配布されている。前回よりかなりボリュームアップしているが、変更点について事務局より説明願います。

加藤主査：主な変更点については送付表に記載の通りとなっているが、第2章「本町の現状と課題」とし、1～6の現状のあとに、「7 第1期計画における重点施策の評価」として、第1期計画の重点施策について各項目毎に担当係で評価したものを追記している。これを受けての第3章「計画の体系」にボランティア活動の推進、地域包括ケアシステムの推進、生活困窮者への支援、保健医療の充実、安心して子育てできる環境の整備を記載し、第4章に具体的施策を記載している。23ページから25ページについては本日差し替えしたものを参照ください。最後の資料編のページに間違いがあったので修正し、誤字脱字についても修正する。

齋藤学委員：22ページの救急医療キットについて詳しく説明願いたい。

加藤主査：かかりつけ医や薬等、本人の医療情報や、生活情報を記載した紙を筒に入れ、冷蔵庫に入れる。そして、それがあつことを知らせるために、冷蔵庫の戸や玄関にシールを表示する。救急キットを持っている人の

名簿も消防署のほうにいており、民生委員も持っているため、本人に何かあったとき、必要な情報を確認できるようになっている。以前は高齢者の一人暮らしの方のみに配布していたが、家族がいても日中一人という高齢者の方も居ることから対象を広げて幅広く活用してもらっている。

市村委員：19 ページの重点施策の評価は、鎌田委員の意見を受けて作成したのと思うが、どのような取り組みをしてきたという記載にとどまっているため、町としてこの取り組みに対してどう考えているとか、ここは不十分だったというような記載があればいいのではないかと。

水尾委員長：前回、評価を載せるべきという意見をいただき、今回反映されたわけだが、実施状況の説明のみになっているのではという意見が出たが事務局はどう考えているか。

加藤主査：個別の細かい部分についてはそれぞれの計画の中で評価されている。それ以外の部分については不足した部分があるかもしれない。

鎌田委員：この計画自体は評価指標や数値目標といったものはないので、これを踏まえて各計画において担当ごとに具体的な取り組みを行ったかどうかという評価が行えるようになっていけばいいと思う。ここに記載されているのは「評価」ではなく「取組状況」ということなのではないか。

高山補佐：各計画から個別の数値目標などを抜き出して載せたほうがいいのか。

水尾委員長：この計画に載せる必要は無いと考えるが、「評価」ではなく「取組状況」としたほうが納得できる内容になっている。

池田課長：「取組状況」としたほうがいいということであればそれに添って文言を修正していく。

水尾委員長：皆様そのようにしていかがですか。

(異議無し)

水尾委員長：「取組状況」に表現を変えて修正していくこととする。その他の誤字脱字についても特に説明は不要なので文言を整理して修正していただきたい。

鎌田委員：39 ページの第 5 章の計画実現のための推進体制にということで、役割についての記載があるが、ボランティア、NPO、民間事業者など、これからの時代、役割を担っていただきたい部分についての記載をしていってはどうか。地域づくりと捉えて、その他団体の役割といったような形でNPOや地域の事業者などに地域福祉に協力してもらえればと思う。

水尾委員長：表現については委員長と事務局で調整して載せていくということにし

たい。

市村委員：4 ページの図に、この計画にぶらさがっている各計画があるが、平成29年度に計画策定することとなっている障害児福祉計画についても載せなくていいのか。現段階ではないものだが、この計画が平成29年度から33年度までの5ヵ年計画ということであれば、載せたほうがいいのか。

加藤主査：確認します。

鎌田委員：4 ページの進行管理に、施策の点検・評価とあるが、評価というと硬い表現になるので、取組状況の確認をしていきます、のような表現にしたほうがいいのか。

加藤主査：修正します。

齋藤学委員：32 ページの地域包括ケアシステムについては高齢者に特化したものなのか。

鈴木主査：現段階では高齢者に特化したものとなっている。

鎌田委員：地域共生社会と言われてきているが、これから障害の部分が入ってくるのではないのか。

加藤主査：包括的な所は必要であるとの認識でいる。現在は制度毎、分野毎に相談等を行っており、現実的にいって、今の段階ですべてをまとめて町の計画に落とし込んでいくのは困難な状況にある。国から取組の指示があれば改訂していくことも考えられる。一体化の必要性は理解している。

水尾委員長：今後明確になった時点で計画に入れていく可能性も考えられる。

菅原委員：22 ページの休日・夜間の医療の充実とはどういうことか。現在庄内町の夜間診療は余目病院が担っている状況。医療従事者の確保についても、医師の高齢化が進んでおり、現在ある開業医院が継続していけるかについては不安に思う。酒田市等であれば開業医の医師の数も多く、順番にとということも考えられるが、庄内町ではどう考えているのか。

高山補佐：酒田市を中心として協議会が設置されており、医療圏域全体での取組となっている。町単独では難しい問題となっており、広域的な意味で協議を重ねているという意味合になっている。

菅原委員：その旨記載して欲しい。

水尾委員長：文言は事務局にお任せする。

佐藤(ト)委員：22 ページの情報キットについては、そういうものを持っているということを知らない人が多いので、老人クラブで研修をした。良かったと思う。デマンドタクシーの使われている状況についてお聞きしたいがいいか。

水尾委員長：デマンドタクシーについては路線バスの運行していない地域について、幹線バスへのつなぎとしてデマンド型のタクシーとして立川タクシーから行っていただいている。三ヶ沢線と出川原線の 2 線がある。情報発信課の地域振興係が担当している。

池田課長：ご意見あれば担当課のほうに伝える。

庄司委員：22 ページの防犯、防災の部分についてだが、福祉施設では、高齢者・障害者の方の避難経路、避難場所等の防犯マニュアルの作成を求められ作成した。地域の避難場所について、地域によって通達されているところとされていないところがある。

池田課長：福祉施設の防犯マニュアルについては県から通知がきてお願いした経過がある。一時避難所、広域避難所については各家庭へ配布されたものだと認識しているが、集落ごとに対応が違ったということであれば危機管理係へ伝えたいと思う。

庄司委員：福祉施設に対応として、民間の事業所等とどう協力して短時間に何人運べるかといった一般家庭と違う非常時の対応が求められる。

高山補佐：徳洲苑では、区長も交えて地域防災の話をしていただいたようだ。そのような機会があればいい。

庄司委員：消防のほうから災害時の施設の対応について聞かれることがある。町民や事業所の協力について計画の中に入れてくればいいと感じる。

渡会委員：立派な計画なので、絵に描いた餅にならないように運動等で高齢者とコミュニケーションをはかりながら、出来る範囲で協力していきたいと考えている。

鎌田委員：14 ページの出生率についてだが、平成 27 年度分について全国平均より低いと思うのだが数字に間違いはないか。

加藤主査：当初表が 26 年度までの数字になっており、全国平均より上との表現になったが、その後 27 年度の数値を追加入力した。27 年度については全国平均より下となっているので、表現の修正を行う。

水尾委員長：比較できるようこの表に全国平均の数値を入れたほうがいい。

菅原委員：余目保育園が民間になったメリットについて聞きたい。

小林補佐：平成 27 年度から民間に移行した。民間だと園舎を建設する時に県、国から補助金が受けられる。新園舎を建設した結果 50 人の定員増になり、待機児童が出ないことにつながる。また、広い意味では保育士や調理師などの雇用増にもつながった。

水尾委員長：他にご意見はありますか。

特に無ければ審議を終了し、字句の修正等は事務局で行い、本日頂いたご意見を反映させた上で最終的な計画が策定される。

## (2) その他

水尾委員長：その他として何かあるか。

加藤主査：今後のスケジュールについては別紙の通りとなっている。2/17 からパブリックコメントを実施し、3/17 に答申となり、町・社会福祉協議会の計画を合わせたものを印刷製本し関係各所に配布、町民の方々へは概要版を広報に折り込み配布の予定となっている。

水尾委員長：パブリックコメント後、庁内会議で揉んで修正し、町長へ答申することになるが、日程については事務局と調整したい。修正ある場合は委員全員へ周知する。

本日は貴重なご意見をいただき、審議することができた。お疲れ様です。

## 4 その他

高山補佐：平成 29 年度の計画策定スケジュールについて説明

## 5 閉会